



山西小学校便り

# 山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



先週末まで全学年の縄跳び大会が行われました。記録証を配付します。

令和3年2月1日(月) no.45 文責：上田

休み時間、換気のために開けている校長室の窓から、子どもたちがジャンピングボード(縄跳びの練習板)で縄跳びの練習する声が漏れ聞こえます。二十四節季の大寒も、明日の節分まで、寒さはもうしばらく続きますが、子どもたちが元気に過ごしている姿を見るのは幸せだと思います。

## 卒業に向けて

先日、6年生の保護者が、卒業式後の卒業生と保護者、先生との「卒業を祝う会」(仮称)実施の願いに来られました。コロナ禍、いろいろと感染防止策を講じなくてはなりません、子どもたちの成長を祝い卒業という節目を迎える子どもたちの学びの機会にしたいと思います。

振り返ると一年前、コロナウイルスについての何の知識もない頃、卒業式が行えるかと不安を覚えていたことを思い出します。今年の卒業式に、進級をひかえた在校生も含め、子どもたちが何を感じ、何を学ぶのか、しっかり見守っていききたいと思います。

### 校内の卒業制作(一部)



## リモート学習 5年総合「西原村の環境を考えよう」

先週末29日(金)、5年生がと、東京の(株)ジェイパワーの相澤さんと教室をつなぐZOOMによるリモート学習を行いました。5年生は、これまでも総合的な学習の時間に、様々な環境学習を続けてきており、今回は俵山の風力発電を題材に自然エネルギーについて学んでいます。「どうして西原村で風力発電が始められたのか」「どれだけの電力がつけられているのか」など、子どもたちは熱心に学習に取り組んでいました。自然エネルギーの活用は、国の政策として最近よく聞かれる「グリーン」「デジタル」でもあります。子どもたちの未来にもつながる大切なテーマです。

また、今月中にはタブレット端末の一人一台の配備が行われることになっており、今後さらに様々な学習でICT機器の活用を進めたいと考えています。もちろん、資料等を読み取ることや相手とコミュニケーションをとることなど、情報リテラシー(情報活用能力)もしっかり身に付けさせなくてはなりません。

